

5月23日（金）広川町庁舎前集会・2025年原水爆禁止国民平和大道進 日本政府は禁止条約の署名・批准を!!



広川町庁舎から湯浅町なぎ広場まで平和行進



広川町庁舎前集会 檜原淳奈広川町町長挨拶

5月23日（金）広川町庁舎前での集会です。進行は有田郡市原水協の木根さんです。まず地元広川原水協の山下紀和さんが「被爆80年、本当に長い間の核兵器をなくそうという運動で昨年日本被団協がノーベル平和賞を授与されました。広川町でも、平和の形を残して置こうと広島市の被爆あおぎり、長崎市の被爆くすのきを植樹しています。」と挨拶です。

次いで、檜原淳奈広川町町長は「世界では、ウクライナやガザで尊い命が亡くなる現実があります。戦後80年、戦争の記憶は薄くなっています。戦争は怖いもの、命を奪う事はいけない事なんだとこの平和行進をかわきりに全世界に伝わってほしいと思います。」と話します。町職員の方も庁舎前集会に多くの方が参加しています。最後、集会アピールを新婦人広川支部林さんが読み上げます。平和行進は、広川町庁舎より湯浅駅前なぎ広場までコースを歩きます。宣伝カーを先頭に、幟を持って平和行進が進みます。湯浅町のなぎ広場では、湯浅町集結集会がおこなわれました。まず、久住顕人湯浅町町議の挨拶です。

「唯一の戦争被爆国日本は核兵器禁止条約に参加していません。どうやって参加させていこうかと思ったら、今日のような平和行進、小さな運動の積み重ねで大きな世論にしていく、核保有国の世論を変えていく、世界的運動がまだまだ必要ではないかと思っています。」そして、県実行委員会から「5月7日橋本市を出発したこの平和行進は戦争反対、日本は核兵器禁止条約に参加をアピールして、県下30自治体を歩き、三重県に引継ぎます。毎年千人近い人が歩いています。」と報告。最後、集会アピールが確認されて終了しました。。

事務局